



ぼくの夢 わたしの夢



須津小五年
遠藤圭子さん

「小学校の先生になりたいな。」と、わたしは思う。もし、先生になれたら、今まで教わった、〇〇先生のあの良いところも見習いたいなあ。△△先生のこういうところも良かったなあ。と、いろいろな先生の良いところを全部とり入れてしまおう。そしたら、どんな先生になるのかな。とにかくわたしは、りっぱな、日本一の先生になりたい。



須津小六年
篠ヶ瀬弘君

ぼくたちの学校にある希望の山や校庭のあちらこちらで、きれいな花がさき、夏になると木かげをつくる何本かの木も若葉でかがやいています。最上級生になって、ぼくは、このきれいな校庭をよりきれいにするために、ごみをなくしたいと思っています。今では、みんなの協力で、ごみをおとす人もなくなりました。卒業まで、がんばりたいと思います。

見学者レポート

第1清掃工場



1日のごみの量がなんと160トン

市内からでる燃せるごみは、1日160トン。各地域ごとに週2～3回家庭ごみを集めています。

大淵にある第1清掃工場は、燃せるごみを焼却処理しているところ。

ごみを溜めるコンクリート製のごみピットは深さ8m、1200トンのごみを入れることができます。ここに近づくと異様な臭い、「ウェーッ」とする。

この悪臭の源は、ごみを出す私たちらしい。一人ひとりがもう少し水を切って出したらこんなに臭わないのにな……気をつけましょう。

それに、ここに運ばれてくるごみは全部燃せるごみのはず。しかし空缶やびんなどが多いこと。時々スプレー容器などが炉の中で爆発し、炉

のいたみが激しいそうです。ごみの出し方をもっともっと行政がPRし市民もルールを守らなければ……

昨年のごみ処理経費が、7億5000万円もかかったと聞いてびっくり。

ごみを減らしたり、出し方を注意すれば税金が有効に使えるのにと感じました。



山出すみ子さん
今泉3丁目



大淵中学校2年
渡辺留美子さん

表紙のことば

市内大淵、高塚地内の富士山国有林で、5月18日大淵中学校2年生214人がヒノキ苗2,500本の植付作業を行いました。計画では、5.05ヘクタールの教育林に20,200本のヒノキ苗を大淵中・吉原北中学校の生徒の手で植えることになっています。

この日、参加した渡辺留美子さんは「遠い将来に目を向け、汗して植えた一本一本の成長が楽しみです。学校生活でのよい思い出になると思います…」と話していました。